

【基本施策の目的】

健康づくりの一環として、だれもが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツを楽しむことができるよう、スポーツを生活の中に取り入れる環境(仕組み)を整えます。

【基本施策の今後の優先度】

判定区分	基本施策における課題の状況及び対応策
	<p>目的の達成に向けては、ハード・ソフトの両面から環境整備を進める必要がある。ハード整備については、施設設備の維持・更新について、人口減少時代を見据え、計画的に進める必要がある。</p> <p>一方、ソフト面については乳幼児から高齢者まで年齢や状況、嗜好等に合わせた整備が必要であるが、特にスポーツの取組率の低い世代に向けた施策について、基本的に現状の取り組みの中で効果的に進めていく予定であり、同一分野内における他の基本施策との比較の結果、同一分野内における今後の経営資源の配分の優先度が普通と判断した。</p>

【指標の分析】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、今後の対応
市民(成人)の週1回以上のスポーツ(運動)実施率	%	実績	37.6	38.4	41.1	34.0	46.4	<p>指標の値は前年度と比較して12.4ポイントの上昇となり、基準値と比較しても8.8ポイントの上昇となった。性別・年代別で見ると、依然として20代~40代の女性の実施率が低い傾向にある。ポイントが上昇した要因としては、健康づくりの一環として生活の中で取り組みやすいスポーツとしてウォーキングアプリ「alko」を活用したウォーキングの推進に取り組んだこと、また、それに伴い設問にウォーキングや体操をスポーツとして明記したことにより数値が増加したと考えられる。</p>	<p>今後の指標値の見通しとしては、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、スポーツが目されるので、今後も高い水準を維持することが想定される。今後もレクリエーションスポーツなど誰でも実施できるスポーツを普及することで、スポーツ実施率が向上することが見込まれる。</p>
		目指す方向性	↑						
体育施設の年間利用者数	人	実績	1,265,499	1,268,882	1,275,965	1,250,977	1,243,610	<p>各施設の利用状況を見ると概ね横ばいとなっているが、温水プールと南スポーツセンターのプール(2ヶ月間のみ開場)で約18,000人の減少になっており、全体として約7,400人の減少(前年度比)となったと考えられる。プール利用は天候に左右されやすく、平成29年度は豪雨などが多く、悪天候の日が多かったため、利用者が減少したと考える。</p>	<p>プールを除き土日祝日の体育施設の利用率は高い水準で安定しているため、現状の実績値と比較して、今後も横ばいになる見通しである。</p>
		目指す方向性	↑						

【施策推進事業の考え方】

<p>経常事業</p>	<p>削減に関する具体的な考え方</p>	<p>パークアリーナ小牧のメインアリーナ及びサブアリーナの照明設備をナトリウムランプからLED照明に改修する。LED照明設備の導入に伴い電気料金の大幅な削減が見込めることから、事業費の削減につながる。パークアリーナ小牧において、既設の照明設備としてナトリウムランプを使用しているが、平成32年12月から製造が禁止されるため、平成31年度事業としてメインアリーナ、平成32年度事業としてサブアリーナの2か年に分けて行う。</p>
<p>実施計画事業</p>	<p>資源投入の考え方</p>	<p>スポーツ実施率の低い世代に対して、スポーツの取り組みを推進するために、平成29年度からバーチャルウォーキング大会を実施してきた。その事業の内容は、ウォーキングアプリ「alko」登録者に対して、仮想のウォーキング大会を開催し、その事業目的は、日ごろ運動をしていない市民に対するスポーツ実施率の向上を目指しており、引き続きバーチャルウォーキング大会に取り組んでいく。</p>

展開方向1	スポーツ活動の機会を充実します								
	名称	〇それぞれの年齢や体力、興味・目的などに応じて、より多くの市民がスポーツに親しむことができる環境を整えます。							
	目的	スポーツ推進課							
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容
各種スポーツ教室・講座参加者満足度	%	実績	88.5 (H26年度)		85.0	87.4	89.9	指標の数値は、全体としては目指す方向性のとおり高い水準を満たしている。親子ふれあい体操教室の満足度が非常に高い。	今後も高い水準で満足度を維持すると思われる。なお、教室の中ではクラブマネージャー養成講習会の満足度が、他の教室と比べて低いのので、近年の社会情勢に沿った魅力ある内容に努める。
		目指す方向性	↗						
市民スポーツ大会などへの参加者数	人	実績	17,121	17,848	16,968	16,745	18,037	指標の数値は、全体としては横ばいであるが、H27・28年度の減少は、市グラウンドゴルフ協会の加盟団体からの脱退などが影響していると考えられるが、H29年度からウォーキングアプリ「alko」の関連した大会を行っており、実績値が増加した。	今後の指標の見通しであるが、各大会のキャパシティがほぼ満杯であり、大幅な参加者数の増加は見込めないが、今後も引き続き、スポーツ大会の周知に努める。
		目指す方向性	↗						
各種スポーツ教室・講座への参加者数	人	実績	2,995	3,422	3,097	2,826	3,360	指標の数値は、全体としては増加傾向にあり、教室・講座の内容等について参加状況や参加者アンケートを参考に改善しており、実績値が増加した。	今後の指標の見通しであるが、H26年度は、臨時的な教室があり一時的に増加した。また、H29年度から親子を対象とした新規のスポーツ教室を開催したので増加した。今後も実施内容等の見直しを行うとともに開催周知に努め、スポーツに親しむきっかけ作りに努める。
		目指す方向性	↗						
スポーツ振興会を知っている市民の割合	%	実績	63.1	58.7	63.1	59.4	57.4	指標の数値は、全体としては低下傾向にあり、スポーツ振興会(地域スポーツ団体)の会員数が減少していることの影響が考えられる。	スポーツ振興会は地域と密着したスポーツの場を提供しており、運動会・スポーツ教室・学校開放事業などを実施していることから、それらの活動のPRや事業内容の工夫に努め、各小学校区内で知名度を上げていくことで、認知度を高める必要がある。
		目指す方向性	↗						

スポーツ指導者の養成講座・講習会の参加者数	人	実績	112	204	189	147	160	指標の数値は、年度によっては増減している。スポーツ推進委員を対象としたADE講習など、不定期の開催が影響していると考えられる。	今後の指標の見通しであるが現状の水準を維持すると考えられる。スポーツの指導者が増加することでスポーツに取り組む人が増加することが期待できることから、引き続き、スポーツ指導者の育成に努める。
		目指す方向性							
展開方向2	名称	スポーツ施設を計画的に整備します							
	目的	〇市民がスポーツ施設を安全に利用できる環境を整えます。							
	所管課	スポーツ推進課							
指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	H29度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因	今後の見通し(予測)、事務事業等の見直し内容
公共のスポーツ施設の利用者満足度(スポーツ公園運動施設)	%	実績	88.9 (H24年度)	68.3	85.3	90.3	86.1	指標の数値は、全体としては横ばいである。市内の体育館の中心的な役割を果たしており、概ね利用者は満足している。	今後の指標の見通しであるが、今後も高い水準で満足度を維持すると考えられる。利用者が、スポーツ公園運動施設を安全に使用するために、利用者のニーズに合う施設の改修を行う。
		目指す方向性							
公共のスポーツ施設の利用者満足度(南スポーツセンター)	%	実績	75.0 (H24年度)	65.7	73.7	87.0	67.4	指標の数値は、全体としては増減がある。アンケートの総数が46人とやや少ないが、市内の武道館の中心的な役割を果たしている。満足度が減少した理由は、「不満がある」と答えた人はいなかったが、「ふつう」が多かったためである。	今後の指標の見通しであるが、現状の水準を維持すると考えられる。利用者が、南スポーツセンターを安全に使用するために、利用者のニーズに合う施設の改修を行う。
		目指す方向性							
公共のスポーツ施設の利用者満足度(温水プール)	%	実績	72.7 (H26年度)		76.7	68.5	84.2	指標の数値は、全体としては増加傾向にある。温水プールの利用者アンケートの回答者は60%近くが市外の方であり、回答者の年代は20歳未満であることから、レジャープールとして市外の方から人気の高い施設として評価を得ていることが、満足度の上昇に繋がっていると考えられる。	今後の指標の見通しであるが、今後も高い水準で満足度を維持すると考えられる。利用者が、温水プールを安全に使用するために、利用者のニーズに合う施設の改修を行う。
		目指す方向性							